

指針・ビジョンに関する委員発言

<第1回会議録より>

○ 小金井市としてどういう保育とか、(小金井市の)街の人が(どういう)子育てができるようにしたいか、というのを言葉にして或いは理念として出していくことができれば良いと思っています。

○ 認可外だから今回のビジョンの範囲に留まれないということになると、小金井市に住んでいて小金井市内で活動していて、丸一日過ごしている方なのに、隙間からこぼれ落ちることになってしまうので、範囲を決めないで、全ての子どもが含まれるような計画になればいいなあ、と思います。

○ どこの保育園に入れてもそれが公立だろうが民間であろうが関係なく、子どもを育てている場所って、園と家族と地域の人がきちんと繋がって、この街で子育てをしていく、というのが見えるようなものがあるといいなと思っていて、サービスとかという面からみるとあまり良くないかなとか、あんまり好きではなくて、やはりサービスではなくて、素敵なものだと思うので、そういうことをしっかり盛り込めるようなビジョンであってほしいなと思っています。

○ 小金井市全体として目指すところは何かというのを、この会議を通じてどんどん話し合っていて、公立、私立、全て関係なく、認可外も関係なく、全ての子どもたちが子どもの権利条約に基づいて最善の利益を得られるようなガイドライン、ビジョンにしていきたい、そうと思っています。

やっぱり小金井市全体でそれを取りまとめていくというか、漏れなく押さえていくような理念を掲げたいですね、ということですね。全ての子どもたちが、ほんとに平等に保育が受けられるようなものにしていきたいと思います。

理念、ビジョンが決まれば、方針とかが決まっていけば、保育の質の向上にもなるし、その確保、維持にもなると思うんですね、その辺りをもうちょっと出し合ってやっていきたいと思うし、目指すものがないと中々決まっていけないと思う。

<第2回会議録より>

○ 今回のここでの策定委員会はこうした保育所保育指針をしたじきにしながら、小金井市で、どういった側面に重点を当てて、より市民の皆さんが納得できる子育て子育てというものを実現していくか、にむけてのガイドラインを作るものと思うのです。これから策定するガイドラインで、こちらの保育所保育指針の内容を全て網羅する必要は、簡単に言えば、ない、ということもこちらで判断すれば可能だと思いますので、それはこちらでも議論して、また練っていけば宜しいんじゃないでしょうか。